



東中学校だより

令和8年6月5日 第4号

文責 校長 沼野 友宏

学校教育目標 ○進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○身体をきたえる生徒

雨天より晴天

当初予定していた5月22日(金)は天候及びグラウンドコンディション不良により5月25日(月)に延期し、3年生にとっては最後の、1年生にとっては初めての体育祭が、多くのご来賓、保護者の皆様に見守られながら盛大に開催されました。

年度早々の限られた時間の中で、各団ともに、3年生、特に団長を中心に練習に取り組んでいました。昼休みにグラウンドで長縄跳び等の練習をする姿が、強く印象に残りました。当日は、各団とも団優勝を目指し、練習の成果を十分に発揮し、競技に、応援に、そして各係に全力で取り組んでいました。

開会式での各団長 ○○○○くん、○○○○くん、○○○○くんの選手宣誓が響き渡り、学級対抗の長縄跳びでは各学級等、声を合わせ、気持ちを合わせ、へとへとになるまで全力で跳び上がる姿は、観ている者に感動を与えていました。また、閉会式での体育委員長 廣瀬莉央さんの言葉は、体育委員長や3年生としての思いなど体育祭を総括するとともに、下級生や保護者への感謝も語られ、誰の心にも沁み渡るものでした。

今年は、生徒会企画種目として、部活動対抗リレーが実施され、第1レースではサッカー部、第2レースでは女子バレー部が見事に1位となりました。部活動対抗リレーのように生徒自らが企画し、実行することが自主性を伸ばすことに繋がります。体育祭だけでなく、多くの場面でそのような取組が今後も展開されることを期待しています。

全力で競技等に取り組む生徒への温かいご声援、誠にありがとうございました。

＜団優勝＞ 赤団(3年2組、2年Bグループ、1年2組)

＜学年優勝＞ 3年2組、2年Bグループ、1年2組



結果と理由

5月28日(木)・29日(金)1年生にとっては初めての定期(中間)テストが行われました。どの生徒も真剣に時間いっぱい問題に取り組んでいました。特に、3年生にとっては、これからの定期テストは、自身の進路に大きく関わってきますので、ピリピリとした緊張感が伝わってきました。

さて、既に各教科とも答案用紙も返却され、「よかった。」「できなかった。」と一喜一憂した人も多かったと思います。結果が良かったのにも思わしくなかったのにも何かしらの理由があります。良かった理由としては「十分に勉強できた。」「ワークをしっかりとやった。」「普段の授業で先生の説明をしっかりと聞いていた。」「わからないところをそのままにしておかなかった。」など、思わしくなかった理由としては「勉強不足だった。」「問題文をよく読まなかった。」「ワークをちゃんとやらなかった。」「授業に集中していなかった。」「難しかった。」など一人一人反省があると思います。今回の反省を来る6月30日(火)、7月1日(水)に実施される期末テストにいかすとともに、部活動等が中止となる試験週間を有効に活用して、計画的に家庭学習に取り組みしましょう。

定期テストは、テスト範囲の中で担当の先生が理解しておいてほしいという内容を選んで出題しています。いわゆる、各教科の基礎・基本的内容になります。返却時には、問題の解説がされていると思います。解説を聞くと、わかった気になってしまいがちですが、本当に理解するためには、間違った問題をやり直しておくことが同じ間違いを繰り返さない、そして、理解を確かなものとしします。今後のことも考え、やり直しをしておくことをお勧めします。そして、その日の授業内容は、その時間のうちに理解するくらい授業に集中して取り組んでください。また、わからないことをそのままにしない。そのままにしておくと、どんどんわからないことが積み重なり、もっとわからなくなってしまいます。わからなくなったらどうすれば良いか？聞けばいいのです。先生方は、その教科のプロです。喜んで教えてくれるはずです。先生方を上手に利用してください。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」とも言います。知らないこと、わからないことを恥ずかしがらずに積極的に質問して学ぶことが大切です。学習は積み重ねです。

臨時休校と非常食

6月1日(月) 町が非常時用備蓄食料(非常食)としている「災害備蓄保存用パン」「レトルトパン」「長期保存食(わかめごはん)」の3種類を配付しました。非常用備蓄食品は、「災害時の食」として命を支える大事な食料です。常温で長期保存がきくもので、火が使えないことも想定された事態に対応できる食品が扱われています。しかし、賞味期限があるため、定期的に新しいものに入れ替えています。また、食品ロスを軽減するという環境への配慮から、生徒への配付となりました。今回配付したものは、台風等で避難所へ避難してきた町民に配付する非常食として町が備蓄している一部になります。町では避難者を1300人と想定し、5日分を保存しています。国では、各家庭で飲料水3日分(1人1日3リットル目安)、非常食3日分(ごはん、缶詰、干物、乾パンなど)、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ、下着、マスク、懐中電灯、携帯ラジオなどを人数分用意しておくことを推奨しています。大規模災害発生時には、1週間分の備蓄が望ましいとされています。



6月3日(水)には日本列島を横断した台風6号の接近にともない、町内小中学校だけでなく、埼玉県内の多くの学校が児童生徒の安全を考え、臨時休校の措置を講じました。

小川町では、思っていたほど雨風とも強くなく、幸いなことに大きな被害はありませんでした。しかし、温暖化が進み、気候変動が激しい昨今、小川町でも台風や集中豪雨などによる災害が発生する可能性がゼロではありません。

大雨等の際には、町から発令される避難情報に留意するとともに、避難情報が発令されていなくとも、防災気象情報等を用いて自ら避難を判断し、適切な避難行動をとることも大切です。特に、警戒レベル4「避難指示」が出た場合、対象地域に住んでいる人は、危険な場所から全員が避難できるようにしてください。そして、警戒レベル5「緊急安全確保」が出た場合、安全な避難が難しい状況であり、すでに災害が発生または差し迫った状況になります。直ちに命を守る行動(自宅の上の階に移動するや崖から離れた部屋に移動する)をとるようにしてください。

災害は忘れたころにやってくるとも言います。もしものために、日頃から準備しておくことが重要です。今回の台風による臨時休校や非常食の配付をひとつの機会として、みなさんも家族の一員として、災害時の行動や備えなど防災について、家族であらためて話し合ってみてください。